

きらめき活動助成事業変更承認申請書

令和4年 10月 6日

公益財団法人 山口きらめき財団
理事長 様所在地 〒753-0214
山口市大内御堀 4044-8 博友舎内
団体名 Thinkサイクリング山口
代表者職氏名 弘重公朗／代表理事

令和4年5月6日付山き財団第18号により助成金交付決定の通知がありました。きらめき活動助成事業に関する事業を変更したいので、きらめき活動助成事業助成金交付要綱第11条の規定に基づき、下記のとおり申請します。

記

プログラム名	自立支援「ゆめ」	プログラム
事業の名称	「情報発信フリーペーパー編集発行」と「人材交流学习トレジャー模擬実施」	
交付決定額	200,000 円	
変更後の交付額	200,000 円	
変更の理由	交付式では「自転車市民権獲得を目指すため、自転車の多様性を伝える団体」と紹介されましたが、その活動は「ホワイトサイクリング」に限られているのは理解困難と思われま す。 また「ユーザー＋ショップ＋地域が三位一体となった地域貢献型マルチサイクリングクラブ」を標榜しているように、申請時では玉石混淆自転車ソフトも扱うフリーペーパーや補完企画も視野に入れていました。 しかし、「会員」についての質問から、フリーペーパー購読会員や、補完企画実践ライセンスメンバー養成だと、あまりにも守備範囲が広すぎ、限られた予算や時間では実現不可能なため、多様性を活かしつつ実現可能な方法を考えました。 「情報発信フリーペーパー編集発行」を『自転車月間スクールズ実施要領作成』へ、「人材交流学习トレジャー模擬実施」を『スクールズのひな型作り』へと、目的も作業も同じながら、スクールに特化し、よりホワイトサイクリングにシフトするものです。 そして会員は、「スクールズ開催を担当する個人や活動団体と、その場所等を提供する管理団体とする。」にしたいと考えます。	
関係書類 ※ []に○を付けて揃っているかを確認してください。	[○] 事業変更計画書 (別紙1) [○] 事業変更収支予算書 (別紙2) [○] 参考資料 (臨時集会報告／秋企画ダミーチラシ)	

事務担当者 連絡先	住所	〒740-0036 岩国市藤生町 1-30-6		
	職氏名	役職 (事務局担当理事) 氏名 (石丸英明)		
	TEL	090-5573-9372/090-3170-6658	FAX	03 - 6368 - 4661
	メールアドレス	bikejoyq@mbr.nifty.com / nqa50755@nifty.com		

事業変更計画書

(別紙1)

当初の事業計画		変更後の事業計画	
*		*	
1月～3月	「Think サイクリング山口設立」～「きらめき財団申請」	1月～3月	「Thinkサイクリング山口設立」～「きらめき財団申請」
4月	* 協力者呼び掛け:フリーペーパー配布先(ショップ、サイクルステーション、観光施設、他)への協力をお願い	4月～5月	* 設立報告:一部関係者へ * 活動方針の検討:ヒアリングシートの指摘を受け * 交付式
5月	* 編集会議:夏秋号の編集方針と情報収集の役割分担の確認。※審査結果に合わせて実施	6月	* 事業内容変更巡回説明:【「情報発信フリーペーパー編集発行」と「人材交流学習トレジャー模擬実施」】から【「自転車月間スクールズ実施要領作成」と「スクールズのひな型作り」】へ!
5月～7月	* 夏秋号/編集発行:情報収集～編集～印刷～配布	7月	* 中間報告:事業達成率5%として報告
8月	* 体験参加①:廃校再生サミット山口主催「自転車さんぽ◇阿東」への参加	8月	* 臨時集会:スクールズ実施要領とひな型、および体験参加について ⇒集会報告:事業内容変更については特に異論が無かったが、会員については「スクールズ企画書」で改めて検討することに。その上で学習トレジャー模擬実施を含む「TCY2022秋企画」を別途検討することに。
8月～9月	* 関連団体への案内:フリーペーパー夏秋号を同封し、自転車関連団体や自転車メーカーへの協力依頼を郵送等で行う。	9月	* TCY2022秋企画・企画調整
8月～10月	* PR活動:フリーペーパー夏秋号をイベント会場等で配布。	10月	* TCY2022秋企画・参加者募集
9月	* 編集会議:冬号の編集方針と情報収集の役割分担の確認。および模擬実施担当者選任。	11月	* スクールズ2023プレ企画・企画書作成 * TCY2022秋企画準備
9月～11月	* 冬号/編集発行:情報収集～編集～印刷～配布	12月	* 秋企画【学習トレジャー山口】:提案型ソフト(スクールズひな型) * 総会:スクールズ2024県内実施に向けて * 企画協力の呼び掛け:県内県外へのPR活動
10月	* 体験参加②:やましろ杣道研究会主催「やましろMTBツアーズ」への参加	1月	* スクールズプレ企画:企画調整～チラシ作成(フリーペーパー春号?)
11月	* 体験参加③:廃校再生サミット山口主催「コマ地図ブルベ◇美祢長門」への参加	2月	* スクールズ2023告知:春需でソフトの具現化 * Web展開の検討
12月	* 模擬実施:提案型ソフト「学習トレジャー26at 山口市」の模擬実施(県庁前広場集合/20組50名)※10月～11月/チラシ作成～募集～TP調査～準備(参加案内、マップ・問題)～運営の検証	3月	* きらめき財団継続申請:スクールズ2024に向けて
12月	* 編集会議&総会:春号の編集方針と情報収集の役割分担の確認。および総会にて今後の方針の確認とライセンスメンバー企画担当を選任。※模擬実施に併せて開催、またはオンラインで!	4月	* 体験参加③④:やましろ杣道研究会準備室主催「やましろMTBツアーズ」/オレンジトロフィー実行委員会主催「復活オレンジトロフィー」
12月～2月	* 春号/編集発行:情報収集～編集～印刷～配布	5月	* 自転車月間スクールズプレ企画実施:県央エリアで10～15会場程度 * 交付式(?)～2次募集:スクールズパイロット募集育成
2月	* 総括:フリーペーパー春号の配布に合わせて実施。		
3月	* ライセンスメンバー募集:次年度のメイン活動? * 体験参加④:オレンジトロフィー実行委員会主催「復活オレンジトロフィー」への参加 * Web展開の検討 * きらめき財団への継続申請		

* 当初の事業計画と事業変更後の事業計画を対比して記入してください。
変更後の事業計画の参考資料等がある場合には添付してください。

(別紙2)

事業変更収支予算書

表は適宜拡大してください

(1) 収入

(単位：円)

科 目	当 初 予 算 額		変 更 予 算 額	
	当初予算額	内 容 記 述	変更予算額	内 容 記 述
①当財団助成金	200,000 円		200,000 円	きらめき活動助成事業助成金
②他機関・団体からの補助金・助成金	0 円		0 円	
③寄付金・協賛金	100,000 円	連携ショップ、サイクルステーション等からの寄付金/5,000円×20店	30,000 円	団体会員登録費 /3,000円×10団体
④広告料	63,000 円	情報フリーペーパーへのロゴ広告 /3,000円×7店×3回	50,000 円	スクールズ2023リーフレット広告 /5,000円×10社
⑤自己負担金	51,000 円	会費/3,000円×17名	50,000 円	個人会員登録費 /1,000円×50名
⑥その他	0 円		0 円	
⑦入場料等収入	60,000 円	提案型ソフト・模擬実施の参加者収入 /3,000円×20組	120,000 円	TCY2022秋企画参加者収入 /2,000円×10組×6回
⑧プログラム売上等収入	0 円		0 円	
収入合計 (A)	474,000 円		450,000 円	

(2) 支出

科 目	当 初 予 算 額		変 更 予 算 額	
	当初予算額	内 容 記 述	変更予算額	内 容 記 述
⑨謝 金	0 円		0 円	
⑩旅 費	0 円		0 円	
⑪消耗品費	40,000 円	封筒、インク、用紙、コピー他	40,000 円	封筒、インク、用紙、コピー他
⑫印刷費・ 広告宣伝費	240,000 円	フリーペーパー印刷費 /15円×5,000枚×3回 提案型ソフト用チラシ印刷費 /15円×1,000枚	200,000 円	模擬実施&会員募集用チラシ /25円×2,000枚 スクールズ2023リーフレット /30円×5,000枚
⑬備品費	0 円		0 円	
⑭通信運搬費	150,000 円	取材関連・他/約30,000円 発送関連/250円×150カ所× 3回=112,500円	80,000 円	取材関連・他/約30,000円 発送関連/250円×100カ所×2 回=50,000円
⑮会議費	0 円		10,000 円	総会会場費
⑯使用料・賃借料	0 円		0 円	
⑰設営費・舞台費	0 円		0 円	
⑱その他の経費	44,000 円	提案型ソフト運営費	90,000 円	TCY2022秋企画運営開発費 (スクールズのひな型の検討含む)
助成対象となる支出計⑩	474,000 円		420,000 円	
助成対象外支出計①	0 円		30,000 円	TCY2022秋企画・保険他
支出合計 (B+C)	474,000 円		450,000 円	

*収入合計 (A) と支出合計 (B+C) の額は一致させること

*「①当財団助成金」欄には交付決定した助成金の額を記入すること



What's J-Cycling?

〒753-0214

山口市大内御堀 4044-8

博友舎内

TEL090-5573-9372

FAX03-6368-4661

bikejoyq@mbr.nifty.com

(きらめき財団申請時連絡先)

…臨時集案内時…



Thinkサイクリング山口メンバー各位

猛暑の候、皆様におかれましては益々ご活躍のことと拝察します。

さて、以前よりお伝えしておりました「臨時集案」を、下記のように開催致します。お忙しいとは存じますが、ご出席の程、宜しく願い申し上げます。

尚、当日(8月3日)午前中までに出席確認をお願いすると同時に、欠席の場合は、欠席者アンケートをお願いします。

2022年8月2日

Thinkサイクリング山口・事務局企画担当/石丸英明

～Thinkサイクリング山口/臨時集案のお知らせ～

◆日時:2022年8月3日(水)18:00 集案準備～18:30 開始～20:30 終了～21:00 片付け・退室

◆場所:山口市小郡令和1-1-1/KDDI 維新ホール会議室 203

※JR 新山口駅北口・徒歩3分(隣接駐車場あり/マップ参照)

◆議題

1) 事業内容変更について

⇒「情報発信アーバナー編集発行」と「人材交流学習レジャー模擬実施」から「自転車月間スクールの実施要領作成」と「スクールのひな型作り」への変更についての意見交換と承認。

2) 会員について

⇒「規約第四条(会員)目的を達成するための志を有する者を会員とする。」「スクールの開催を担当する個人や活動団体と、その場所等を提供する管理団体とする。」を追記することへの意見交換と承認。

3) 体験参加について

⇒9月4日ブレイド亀山への体験参加および11月6日阿東自転車さんぽへの運営協力をする事への意見交換と承認。

4) PR 活動について

⇒県内外の関係者への呼び掛け及び会員募集についての意見交換。

5) 提案型ソフト模擬実施

⇒学習トレジャーハント26の山口市内での実施について、石丸が担当で進めることについての意見交換と承認。

6) 総会について

⇒実施時期および担当者についての意見交換。

7) スクールズ 2023 プレ企画について

⇒構想についての説明～企画調整の担当部会設置についての意見交換。

8) その他:ロゴマークの公募、予算管理、他

◆出席確認:□出席します □欠席です。

◆欠席者アンケート

⇒議題1)～8)について、ご意見や質問があればお願いします。

⇒また、1)、2)、3)、5)については臨時集案に任せますか?

※オブザーバー参加も検討予定でしたが、呼び掛け時間が無いため断念したいと思います。

～臨時集案報告～

◇出席者:市川、三明、志賀、弘重、常原、石丸(敬称略)

◇議事進行は、石丸のひとり語りに進め、質問への回答や、意見を求めたりした。

◇柳井からの2名が到着する前に、将来性と方向性について質問があり、4年計画であること、今後の会員が引き継げる内容を模索することを説明。きらめき財団助成金の条件や、情報発信や人材交流のタイミングからそう考えており、図にすると以下のようになる。

2022		2023		2024		2025	
助成金1		助成金2		助成金3		助成金4	
●●●●	●●●●	●●●●	●●●●	●●●●	●●●●	●●●●	●●●●
04期	7期	04期	7期	04期	7期	04期	7期

◇出席予定者が揃ってから議題に沿って進めるが、それは申請内容変更後についても。そのため設立の経緯についての質問が。それに対して裏議題として以下を挙げる。

- ・日常利用とスポーツ利用の架け橋 } 日常利用者に対して、ツーリング関係者が調査を行い、競技関係者が運営を担当する連携型THT26を提供。
- ・ツーリングとレースの連携 } 自転車協会の山口県視察の感想や、彼らの考えるショップでソフト提供に対して、先行山口企画の提案。
- ・サイクル県やまちPの後継企画 } 春需でソフトの具現化には補完企画投入が必要。しかしスタッフ育成は困難のため自由使用企画に舵を切る。
- ・先行山口として春需でソフトの具現化
- ・補完企画実践スタッフ育成の断念
- ・一般道の自由使用の細り下げ

◇議題1: 事業内容変更には、特に異論は無かったが、「自転車月間スクールの」必要性、継続性、守備範囲、運営等については議論噴出。(別記参照)

◇議題2: 曖昧な表現から具体化したつもりだったが、それでもイメージが湧かない。スクールズをサポートする個人や団体とすることを確認するが、スクールズ企画書の中で再調整。

◇議題3・4・5はまとめて進行。体験参加や模擬実施と言った秋の活動は石丸が担当し、それに合わせてPR活動(会員募集)を考えているが、発起人の係わりをどうするか?と、投げかける。それに対し、「何故トレジャーハント26なのか?」「PR活動の対象は誰なのか?」「別枠の模擬実施も可能なのか?」等の質問が。⇒何故:当初「学習トレジャー」の普及活動をメインに据えていたが、スクールズの一項目になって薄まったが、実績から必要と考えている。但し、地味なイメージは認識している。⇒対象:ショップに来店する普及活動に興味のある愛好家だが、石丸的にはTHT26を仕込めるスタッフを期待。⇒別枠:スクールズのひな型作りとしては必要な作業のため、逆をお願いしたい。その上でPR活動は、スクールズ企画書内で調整。

◇議題6: 模擬実施後に行うとして12月か1月に場所は維新ホールを想定し、秋の活動の中で調整。

◇議題7: 構想については議題1で説明済みで、スクールズ2023プレ企画の企画書作成時に調整。

◇議題8: ロゴマークは「仮」状態で使うとして、臨時集案案内時から、流用部分をオリジナルに差し換え、キヤッチコピーを「What's J-Cycling?/日本のサイクリングとは何?」に変更。如何でしょうか? また予算管理と、その他に含まれる補完企画との連携は持ち越しに。

◇補足: ツーリングコンペティション・他/当日使用していない用語での補足解説。今後も使用する可能性があるため、別記をご覧頂ければ。



終了後、会場の玄関前で。

◇議題1(別記)

事業内容の変更については、特に異論は無かったが、「自転車月間スクール」の必要性、継続性、守備範囲、運営等については議論が噴出した。

その議論(質疑)には、「助成金への依存」「運営負担の集中」「リスクの回避」「実施時期の分散」「代表者の道義的責任」「告知の難しさ」「ライセンス制度」などがあつた。

それらを説明する際に、断片的にスクールズ構想を語ったが、その「リスタート考」が下図になる。

★構想30年

先行山口で再浮上！やっぱり回帰サイクリングスクール
【妄想ジャパンバイシクルアカデミー/JBA】
 ⇒それぞれの立場でトップライダーが自転車月間で同時多発的に自転車教室を行う「春闘でソフト」の最終目標！
 ⇒自転車協会や自転車普及協会など公益普及活動団体と、在野の趣味余暇活動グループとの架け橋を担う。
 ⇒JBAがThinkサイクリング山口に相当し、それ以外が玉石混交自転車ソフト実践の在野グループとなる。

※「構想30年」と「構想25年」の「リスタート考」は、「やましろMTBツアーズ2022春企画」の実施後に、地元協力者への説明用資料マップに書き添えたもので、「Thinkサイクリング山口」と「補完企画」の関係性も示している。

★構想25年

先行山口の出兵！？ついに見つけたリパティフィールド連地
【妄想府谷ベース/リパティフィールドNISHIKI】
 ⇒地域+ユーザー+ショップ、三位一体で維持管理する、通年利用可能な日本流トレイルメンテナンス実験基地！
 ⇒希望的展開案
 ⇒エリア内企画/MTBツアーズ定期開催/仙道調査&道管請
 /車両搬送サービス/MTB仙道走行スクール/月変わりコース
 /ラリー開幕戦&閉幕戦/とれとれTJ/カフェ&ロッジ
 ⇒連携広域企画/MTB三昧ツアー/廃校通学路探索/旧街道探索
 /六日市トンネル活用企画/スペシャルサイクリング企画
 /コマ地図ブルベ/学習トレジャー/150トーナメント
 /BGMシリーズ戦/さんいん1300/春闘でソフト同時多発スクール

※先行山口の出兵とは？
 Thinkサイクリング山口⇔やましろサザンセットCFC
 ⇔やましろ仙道研究会⇔リパティフィールドNISHIKI⇔府谷ベース

どちらも輪界関係者の中で、将来を見据えて必要とする肯定的な意見と、直近の課題が優先との否定的な意見があつたため、「構想」に留まっていた。

⇒必要性(マナースクール):日常利用のマナー、イベント参加のスキル、ソロツーリングのメカトラ、自己研鑽ではなく手を差し伸べる形のスクールがあつた方が、無駄な時間が省け、多様な自転車遊びに時間が割けるようになる。構想発案時の目的に相当する部分。

⇒継続性(スキルアップスクール):特定のスタッフに負担が掛からないように、また年代を超えて関わられるように、産学連携や二年跨ぎ企画を模索したい。

⇒守備範囲(座学から体験参加まで):パンク修理教室や自転車乗り方教室から、模擬ツーリングや模擬レースまで、スクールズのひな型を積み重ね、行政や警察にも取り入れてもらえる内容にしたい。

⇒運営(等身大、役割分散):運営の基本は、リスク分散の図れる、組織で遊ぶツーリングコンペティションを軸に組み立てたい。等身大運営とも言えるが、日本には馴染みの薄い概念。その対極にイベントサイクリングがある。

⇒応用(情報発信、人材交流):応用と言うより、事業内容変更前の理想形、「告知」~「実践」~「報告」の流れとして、「イベントカレンダー」~「学習トレジャー/補完企画」~「Web展開」は、「サイクリストライセンス」の別枠での議論が必要だが、忘れてははいない。

◇補足(別記):ツーリングコンペティションへの拘りとプロショップへの呼び掛け案



まず左図「サークルナイン」のように、[春需で情報発信]、[秋需で人材交流]のループを想定し、自転車の二面性をより多くの関係者が理解することを前提に、三種の道(街道・山道・町の道)を網羅するツーリングコンペティション運営の標準化を軸に、日常利用~ツーリング~レースと、幅広く二年跨ぎ企画を継続できる仕組みとして、スーパー先達が所属する、地域貢献型マルチサイクリングクラブのネットワーク化が究極の企画と考えている。

しかし、一般道の自由使用(日本のホワイトサイクリング)と曖昧使用(UCI的ロードサイクリング)が混沌としている「日本の実情」があり、玉石混濁自転車ソフトをワンストップで扱うのは難しいと判断。

その上で敢えてツーリングコンペティションへの拘りです。まず日常利用とスポーツ利用は常用速度が異なり、ツーリングとレースの境目は個人TTの運営方法の違いになると、諸先輩が語っている。つまり、不連続を認めている。。

そしてフランス人の考える自転車遊び、ブルベやMTBラリーレイドに触れ、走り出したら自己責任やリパーススタッフなど、組織で遊ぶノウハウが普通に共有されていることに目から鱗が。。

しかしそのままでは日本への導入は難しいと考え、アレンジして「とれとれバイク」や「ルートN」を、MTBブームの最中に仕掛け、雑誌でも紹介される。中上級者には受け入れられたが、既存の団体からは時期尚早と判断され、前者は自ら情報発信を諦め、後者は「PBPブルベ」に衣替えするもアンダーグラウンド状態に。どちらも有志による運営で今に至る。。

確かに一般への普及という点では、世間から乖離しており、日本の実情に合った自転車遊びを模索する実証実験企画から、「THT26◆自転車さんぽ」を見つけ出し、春と秋の共同告知や、イベントのサブメニューへの採用など、一定の成果を挙げる。そして、東本大震災の復興支援イベントに係わる中で、警察庁交通規制課から、自転車ソフトの標準化の必要性を指摘され、それらを応用した「サイクリングネットワーク再構築(⇔自転車さんぽネットワーク)」を自転車協会に提案するが。。

日本のホワイトサイクリング vs UCI的ロードサイクリング
 ソロ <vs> クラブ <vs> ガイド <vs> コンペ <vs> イベント <vs> レース
 「自転車ソフト六分割チャート/ホルムデン版」
 日本のグループ活動がグレーに、UCI的は全てがサイクリング！

春需で情報発信⇒スクールズ案内

2022	2023	2024	2025
助成金1	助成金2	サイクリングプロジェクト	助成金3
0枚型	7枚	0枚型 7枚 (学習用)	0枚型 9枚 7枚 4枚

秋需で人材交流⇒ひな型の実験実施

自転車協会の目指す「春需でソフトも売ろう！」は、発想自体は間違っていないが、具現化には幾重にもハードルがあり、その最たるものが「日本のホワイトサイクリング」と分析し、今回の「Thinkサイクリング山口」+「補完企画」となっている。

そこで「自転車月間スクールズ」を全体的に行うに当たって募集する「会員」の条件として、ショップとユーザーが協力してスクールズのひな型作りを求めたい。それは「トレジャーハント26」のように、実験企画として試行錯誤前提で構わない。

一方、春と秋のイベントカレンダーや、月々のWebマガジンへの情報提供もお願いしたいが、それらは補完企画の守備範囲になるので、別枠でどうするか考えたい。その上で補完企画の役割として、クローズド&オープンも含んだ、三種のツーリングコンペティションの知名度アップが最重要課題と認識したい。

まちのお宝探しつけた!
地図遊び◆自転車さんぽ26

毛利チャレンジ2022

THT26
トレジャーハント



地図を読む! 謎を解く! レアを選ぶ!
大逆転で三賞ゲット!

参加者募集!

<http://www.bike-joy.com/THT26-sanpo.htm>

自転車さんぽ26 検索



錦帯橋

岩国市

11/3木祝

長府城址

下関市

11/6日

萩城址

萩市

11/13日

青海島

長門市

11/20日

恩田公園

宇部市

11/27日

山口城跡

山口市

12/4日

地図を片手にお宝巡り!

運を味方に自転車さんぽ!

「地図あそび◆自転車さんぽ26」は、エリア内26箇所のお宝ポイント(TP/トレジャーポイント)を巡るゲーム旅! TPクイズ8問以上に答え、集計後判明するオンライントレジャーを推理して三賞をゲットしよう!

「Thinkサイクリング山口」って何?

日常利用からスポーツ利用まで、自転車の楽しみ方は十人十色。ところが、「サイクリングとは、レースを含むスポーツサイクリング全般」と「自転車市民権」を得ている欧米に比べ、法的根拠が曖昧な日本では、実は集団走行に制限がある。そこで一般道の自由使用の範囲で「グループサイクリング」の楽しみ方や可能性を考えたいと「Thinkサイクリング山口」を立ち上げた。

自転車さんぽ26◆毛利チャレンジ2022

曖昧な法的根拠でも、一般道の自由使用としてソロツーリングは認められている。ガイド付きツーリング等の集団走行は厳密に言うと法に触れ、イベントサイクリングは明らかに目的外使用となる。その「日本の実情」に合った自転車遊びの模索から生まれた運頼みルールの「地図あそび◆自転車さんぽ26」。日常利用とスポーツ利用の架け橋となる企画を応用して、「Thinkサイクリング山口」では、交通ルールの学べる「学習トレジャー」のコース設置を目指している。そして今回、山口きらめき財団の助成事業として、「秋需で人材交流」をテーマに「自転車さんぽ26◆毛利チャレンジ2022」を開催。

◆申込方法: ホームページの参加心得等を良く読み、実施日の一週間前までにWeb申込をお願いします。

《毛利チャレンジ2022事務局》 〒740-0044 岩国市通津 1951-10 いわくに研究会内

Tel: 090-5573-9372 (イベント専用) Fax: 03-6368-4661 (インターネット受信) E-mail: bikejoyq@mbr.nifty.com

まちのお宝みいつけた! 地図遊び◆自転車さんぽ26

自転車さんぽ26◆毛利チャレンジ2022

・・・会場・日程一覧・・・

- 主催:Thinkサイクリング山口
- 特別後援:公益財団法人山口きらめき財団
- 後援:サイクル県やまぐちプロジェクト
- 運営協力:いわくに研究会



■実施概要(大逆転ルールと三賞):地図を読み作戦を練って、エリア内26箇所のTPを任意に巡り、お宝現場クイズの謎を解き、オンリートレジャーを推理しながら8箇所を選ぶ。集計後判明する最少選択TP的中優秀者をエクセレント賞(Ex賞)、二番目少数TP的中優秀者をソリッド賞(So賞)、そして頑張ったのに残念な成績をブービー賞(Bo賞)として三賞表彰を行う。交通ルールを遵守出来るように工夫した、逆転の発想の変則オリエンテーリング「トレジャーハント26」は、大逆転ルールのため、年齢性別車種不問で誰にでも表彰のチャンスがある。

- ★スケジュール(共通)※制限時間:2時間分以上3時間以内
- 09:00 受付(集金、出走サイン) (※会場で異なる場合があります。)
 - 09:15 ブリーフィング(ルール説明)
 - 10:00 スタート(作戦会議～任意スタート) (※昼食任意)
※TP巡り(逆回り、ショートカット可)～解答(三択クイズ&時刻記入)
 - 12:00 フィニッシュ受付開始【旧亀山小学校体育館】
 - 13:00 フィニッシュ制限時刻(以降ペナルティ発生)
 - 13:30 失格時刻(以降集計対象外)
 - 14:00 集計・発表・表彰式



【基本ルール】・・・トレジャーマップの推奨コースやTPヒントを頼りに、問題解答用紙のTPクイズの答えを探しながら、エリア内26箇所のTPから8箇所以上を巡り、最少選択TPを当てる、変則オリエンテーリング。トレジャーマップは国土地理院2万5千分の1地形図のA4大が基本。但し、会場によって異なる場合もある。TPには会場毎のローカルテーマもある。推奨コースは15～25kmで、2～4時間程度で走れる内容。正確に辿る必要はなくショートカットもOK。規定数以上の余剰TPへ行ってもOK。TP訪問証明は三択方式の現場クイズ。順位決定は「①訪問者数」「②正解数・余剰TP数」「③所要時間」の3要素。スタートは任意による「ブリーフィング&ゴー」、フィニッシュは「帰着チェック」。制限時間は2時間以上3時間以内が目安(会場毎に設定)。タイムオーバー30分まではペナルティ加算、31分以上は失格。

- 参加費(申込方法):☆一般1,500円(中学生以上) ☆グループ2,500円(3名まで) ☆ファミリー2,500円(小学生含む4名まで) ☆追加1人500円 / 申し込みは、参加心得や誓約事項を理解した上で、ホームページよりWeb申込で実施日1週間前までにお願いします。(参加費:当日集金/参加案内:実施日の3日前までにメールにて送付)

※参加心得、誓約事項、および解答方法はホームページをご覧ください。 <http://www.bike-joy.com/TCY2022Autumn.htm>

2022岩国◆自転車さんぽ (TPテーマ:錦川26珍)

11月3日(木祝)午前9時30分【10月27日(木)締切/定員10組20名】
岩国市横山/吉香公園第二駐車場集合(無料P)
(最寄駅:JR岩徳線川西駅 最寄インター:山陽自動車道岩国IC)
※レンタサイクル:0827-28-6600/岩国市観光交流所「本家松がね」
※(予定)後援・協力:岩国市観光協会

自転車さんぽ◆城下町長府2022 (TPテーマ:Mocリターンズ)

11月6日(日)午前9時30分【10月30日(日)締切/定員10組20名】
下関市長府宮崎町/関見台公園駐車場集合(無料P)
(最寄駅:JR山陽本線長府駅 最寄インター:中国自動車道下関IC)
※レンタサイクル:083-246-1120/長府観光協会
※(予定)後援・協力:下関市観光コンベンション協会

自転車さんぽ◆時めぐり萩2022 (TPテーマ:Mocリターンズ)

11月13日(日)午前9時【11月6日(日)締切/定員10組20名】
萩市堀内/萩城址「城跡ながお」駐車場集合(無料P)
(最寄駅:JR山陰線玉江駅 最寄インター:小郡萩道路絵堂IC)
※レンタサイクル:0838-22-2914/スマイル貸し自転車
※(予定)後援・協力:萩市観光協会



自転車さんぽ◆いろいろ長門2022 (TPテーマ:Mocリターンズ)

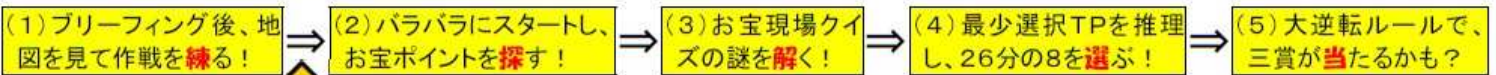
11月20日(日)午前9時30分【11月13日(日)締切/定員10組20名】
長門市仙崎/青海島共和国集合(無料P)
(最寄駅:JR山陰線長門市駅 最寄インター:中小郡萩道路絵堂IC)
※レンタサイクル:0837-26-0708/道の駅センザキッチン(長門市観光案内所)
※(予定)後援・協力:長門市観光コンベンション協会、廃校再生サミット/山口・青海島共和国

THT26◆自転車さんぽ宇部2022 (TPテーマ:彫刻と産業)

11月27日(日)午前9時【11月20日(日)締切/定員10組20名】
宇部市恩田町/恩田運動公園駐車場集合(無料P)
(最寄駅:JR宇部線東新川駅 最寄インター:山口宇部道路宇部南IC)
※レンタサイクル:ナシ
※(予定)後援・協力:宇部市スポーツコミッション

学習トレジャー◆時めぐり山口2022 (TPテーマ:道路標識)

12月4日(日)午前10時【11月27日(日)締切/定員15組30名】
山口市滝町/旧山口藩庁門集合(県庁無料P)
(最寄駅:JR山口線山口駅 最寄インター:中国自動車道湯田温泉SIC)
※レンタサイクル:083-901-0150/湯田温泉観光案内所
※(予定)後援・協力:山口市教育委員会



「Thinkサイクリング山口」について(設立趣意書より)

普段より自転車のある生活に関心を寄せられていると思いますが、その移動や趣味の道具、「自転車」に乗って使うことを表す「サイクリング」に相当する日本語をご存じでしょうか?因みにUCI(国際自転車競技連盟)のルールブックには「サイクリングとは、レースを含むスポーツサイクリング全般」とあります。工業製品としての「自転車/ハード」、それが移動する「自転車走行空間/インフラ」、その使い方としての「自転車利活用/ソフト」、さらに利用者のスキルを問う「自転車乗操心得/ハート」などの自転車多様性四要素。そして歩道走行問題の再燃時に「自転車には、歩行的利用と自動車の利用の二面性がある」と警察見解が出されたように、右図のような多様性の中の二面性が最近の自転車ブームで炙り出されたように感じています。

自動車より小回りが効き、歩くより広範囲に移動できる「自転車」の利活用を考える際、『日本の自転車走行環境の実情』が浮上し、議論が先に進まない場面が多々あり、その『日本の実情』は、定まらないインフラ整備、手付かずのソフトの標準化、他人任せのハートの啓蒙活動など、第一次サイクリングブームから潜在する「サイクリングの曖昧な法的根拠」という課題に、コロナ禍で再認識したハードの供給体制の空洞化も含んだもので、「サイクリング」が縦割り行政の犠牲になっている可能性があると言うことです。

そういった、多様性の中の二面性を踏まえて、「自転車のある生活」に多角的に取り組む地域貢献型の団体として「Thinkサイクリング山口」を立ち上げたところです。「春需で情報発信」「秋需で人材交流」を両翼として、この秋企画から活動を始めたところで、次の春企画でより多くの人に参画して頂ける「スクールズ」を具体化したいと思っています。

※興味のある方は右記ホームページをご覧ください。⇒ <http://www.bike-joy.com/TCY22-23.htm>

◆多様性の中の二面性

- ◎ハード:自転車 // 軽車両 ⇔ スポーツ機材
- ◎インフラ:走行空間 // 一般道 ⇔ 専用道
- ◎ソフト:利活用 // 日常利用 ⇔ スポーツ利用
- ◎ハート:乗操心得 // 自転車市民権 ⇔ 自転車多様性

《毛利チャレンジ2022事務局》〒740-0044 岩国市通津1951-10 いわくに研究会内

Tel:090-5573-9372(イベント専用) Fax:03-6368-4661(インターネット受信) E-mail:bikejoyq@mbr.nifty.com